第3080回 例会記録
２０１５年２月16日



甲府ロータリークラブ会報

甲府市相生２丁目２－17
電話　055－237－5475
www.kofu-rotary.gr.jp
info@kofu-rotary.gr.jp

2014－'15年度 甲府RC会長テーマ「ともに輝け！縁の環（えにし わ）」

会　長　雨宮俊彦
副会長　山本孝夫
副会長　進藤哲雄
幹　事　小林日登士

2月23日 第3081回 例会プログラム

●米山奨学金の贈呈
●講師卓話
「山梨と途上国を結ぶ国際協力」
JCA山梨国際協力推進員
市川　裕美 様

本日のメニュー
松花堂弁当
サーモン刺身
冷奴
マカロニグラタン
他

次回例会
３月２日（月）

●今月のお慶び
●米山奨学金の贈呈
●講師卓話
「富士山の世界文化遺産が危うい現実」
グランドワーク三島
専務理事　渡辺　豊博 様

甲府ＲＣ携帯サイト
www.kofu-rotary.gr.jp/i
携帯電話より
新着情報の確認
欠席連絡が行えます。

Rotary Song　甲府ロータリークラブの歌　ソングリーダー　茂木信三郎

会長挨拶

会　長　雨宮俊彦

本日のお客様は、「ともに輝け！人生合格点」と題しまして（良いテーマですね！）後程、卓話をしていただきます、ふじ内科クリニック医院長の内藤いづみ様でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

既にお伝えしてありますように、今月の７・８日に富山ロータリークラブを訪問していただきました、会員交流姉妹クラブ委員会 委員長の小松崎会員に、そのご報告をしていただきます。

そして雑誌紹介、担当は角田会員です。ご周知のように、ロータリアンとして、出席・会費納入とこの雑誌の購読が義務付けられております。

義務というと、なんだか無理に読まなくてはならない、しょうがなしに、と思いがちになってしまいますが、ここは発想を切り替え、ロータリアンの権利と考えてみましょうか？甲府ＲＣに在籍する中で、全国の、また世界のロータリーに関する情報、ロータリアンとしての考え方、楽しみ方等が、毎月この一冊に凝縮されております。ロータリアンしか購読できない、ロータリアンだから読むことができる権利であると考えて、この「ロータリーの友」に接してみては如何でしょうか。

最後に、今夜は、第２回クラブ協議会がございますし、今週より家庭集会が月末にかけて各グループ・それぞれの会場で開催されます。何れに於きましても、皆様の活発な議論をご期待申し上げまして、会長挨拶といたします。有難うございました。

幹事報告

１）例会変更
甲府東ＲＣ　３月６日（金）→３月８日（日）13:15
ホテル春日居　山梨第一分区ＩＭ参加
２）今週も3月8日（日）に開催される「山梨第1分区インターシティーミーティング」の案内を回覧させて頂いております。多くの会員の皆様のご参加をよろしくお願いします。
３）皆さまのボックスに現在の「委員会配属表」を配布させていただきました。本日現在の当クラブの会員数は113名（期首＋3名）です。
４）本日18:30よりホテル談露館にて本年度クラブ協議会を開催いたします。理事・役員の皆様はよろしくお願いします。18:00より食事の準備をしております。
５）ロータリーレート　２月　１ドル＝118円

出席報告

（敬称略）

（会員数　１１３名）

	出席者数	出席率
本日の出席	86/106	88.68％
前々回の修正	88/105	83.81％

（出席免除会員18名）

〔本日の欠席者〕
天野、上原（重）、大森、木田、髙村、田嶋、鶴田、内藤（民）、成澤、西川（一徳）、松村（秀）、松村（昌）、茂木、山内、山口
以上　15名

〔出席免除会員の本日出席者〕
飯島（忠）、長田（眞）、金丸、新海（照）、新海（治）、深澤、古屋、丸茂（紀）、宮城、山本（孝）、横山

〔他ＲＣに出席及びメークアップ会員名〕
２月13日　甲府東ＲＣ　池谷、篠原、山内、髙村
２月15日　第2570地区 地区チーム研修セミナー　髙野

■本日のゲスト
卓話者　ふじ内科クリニック　院長　内藤いづみ 様

■富山RC（姉妹クラブ）訪問報告
会員交流・姉妹クラブ小委員会　小松崎五郎 委員長



甲府RC創立65周年記念事業の一環として、姉妹クラブである富山RCを甲府に招待することが決まっており、招待状の持参と打合せを目的として、山本副会長と一緒に２月７日（土）８日（日）の両日に富山を訪問しました。

航空機や新幹線を利用する行程もあったのですが、所要時間が大差ないことと、費用が少ないことを理由にJR在来線を利用しました。往路４時間34分・復路５時間12分の長旅でしたが、大きな遅れもなく往復することができました。

１日に１本だけ松本を越えて南小谷という駅まで行く“あずさ３号”があり、そこから糸魚川まで単線の大糸線を利用し、背丈を超える大雪の風景に圧倒されました。糸魚川には北陸新幹線の駅が完成しており、周辺の風景にそぐわないほど立派でした。富山駅も立派になっており、新幹線の威力を感じました。

「北陸地方は大雪が続いている」との天気予報でしたが、富山市内は雪もなく、当日は立山連峰がよく見える快晴でした。富山駅には14時前に到着し、打合せが16時からだったので、15時から１時間市内を車で案内してもらいました。

16時からの打合せには、四十万（しじま）会長・細川次期会長・長崎幹事・山田次期幹事にご出席いただき、雨宮会長からの招待状を渡した後に、式典や懇親会に関する打合せを行いました。４月11日（土）に甲府を訪問するのは20名とのことで、12日（日）に富山で“ロータリーデー”が予定されているため、12日（日）の朝には甲府を出発するスケジュールになっています。「11日（土）の懇親会場に富山の物産を展示するコーナーを設置したい」とのリクエストが先方からありました。

手土産として『プレミアム桔梗信玄餅吟造り』20箱を事前に送付したところ、大変喜んでもらいました。

日程の関係で参加人数は少ないですが、個人的に甲府RCのメンバーをよくご存じの方も多いらしく、皆さん楽しみにしていらっしゃるそうです。甲府での１日を楽しく過ごしていただくよう、準備を整えたいと思います。

■雑誌紹介
雑誌・対外広報小委員会　角田　武一 会員

■講師卓話

「ともに輝け！人生合格」

ふじ内科クリニック院長　内藤いづみ 様



（要約）これまでいろんなところでお話しをしてきました。ロータリークラブでも何度か呼んでいただいており、時間励行を大切にされていることを心得ております。

凧を揚げて雷が電気であることを見つけたベンジャミン・フランクリンという人の言葉に「Time is Money」という言葉がありますが、いやらしい意味ではなく、ホスピスケアを行っている私たちの中では大切な言葉になります。

本日もみなさんの「いのち」の時間を頂戴してお話しをするわけです。

同じベンジャミン・フランクリンの言葉に富める人もそうでない人も二つの共通しているものがあるという話があります。それは「Death & Tax」であります。

介護の部門でお金が足りないので、みなさんもたくさん税金を払ってください。(笑)

私は、20年以上も前から、いのちの最終章の過ごし方、を考えて参りました。

時代がかわって、国も「在宅ケア」と言うようになりました。制度がないときにもお手伝いして参りましたが、「在宅で」という言葉は、決して「自宅で」ということにはならず、特別養護老人ホーム、グループホームなど自宅に近い環境であるというくくりで、現在は在宅ケアが考えられています。

人生の最終章において、いのちはどのように看取られているか、みなさんも考えていただきたいのです。

（富士山の写真について）表富士は山梨県側ですよね、と静岡県知事を前にして話してしまったときは、よろしくなかったようでした。(笑)

（スマホについて）この会場ではスマホを弄っていないからよいですけれど、20代の子たちを前にするときは、大半が隠れて繋がっています。もう、防ぎようがないとも思います。報道によれば、一日７時間やっているという。これは一種の依存症状であり、アルコール中毒などと同じ病気だ、と言う方もいます。

（産湯の写真で）「産湯」から、お産婆さんが赤ちゃんを取り上げて、家族全員で、新しいいのちを迎えた場面です。

助産師は、女性のみ（現在の法律上）となっています。

なぜ、いのちの最終章を話すのに、産湯の話が出るのかというと、いのちには最初があるから、最後もあるということです。

いのちの最後にも、温かい声や手、介護の力が必要です。

見にくいといけませんので､資料を配布してありますので､(手許の）資料を見てください。

この図（人口ピラミッドの図）のように、100歳以上の人口が2055年には63万人になると予想されていますが、まさにこのとおりになると思います。現場を見てきた私たちの実感です。

細いところ（支える世代の部分）が山梨は一体どうなるか、考えていただきたい。

お世話をしていただいた秋山さんが、すばらしいタイトルを付けてくださいました。「人生合格点」、私たちは、（仕事などで）頑張りすぎる人、頑張りすぎて「うつ」になった人に対して「頑張らなくていいんだよ、合格点でいいんだよ、自分で自分に合格点を出していいんじゃないの」という話をさせてもらっています。

（20年前から在宅ケアを見てきて変わったことは何か。）当時、介護サービスもなかったときに家での看取りを選んだ人達というのは、まず、勇気があった、何とかなるという楽天的な想いがあり、その想いは繋がりを呼んだ。ポジティブな想いには力が集まるように思います。

前から話をしている話しです。15年くらい前のこと。

都会に住んでいて、いつか長坂に帰って来たいとの気持ちの方がいて（茅が岳が写っています)、残念ながら、手遅れのガンが見つかって、余命３か月以内と言われた。それで帰っていらした。

治療するかどうか。と言うときに、この方は、痛みを取りながらいのちに向かい合うと言う決断をした。

ログハウスを建てて、大根の種を播き、育てて、収穫して、そして、妻にほろふき大根を作ってもらう。これが人生最大の目的になりました。

症状がすすんで、一時期入院して、管だらけになったとき、どうするか。

この方は、家に帰るという決断をしました。

ペット（犬、猫）を家の中で飼っていた。点滴からの解放、自宅で過ごしたその写真。「極楽、極楽」といって自宅にいらした。

骨折ったり、肺炎になったりした治療を終えたあとに、すぐに家に戻れない事情がある場合がある。こうしたときに「地域ほうかつケア病棟」の設立を国が進めている。

急性期の治療後、２か月の猶予をもって、その後自宅に戻るというものです。

この方は、自分で種を播いた大根を収穫する（抜くところまで）ことまでできたのですが、こうしたことが可能になるのは、本人の決意と、それを支えるという家族の決意、（ガンなどの）痛みを緩和することのできる実力のあるチームが必要になります。

現在は、全国的に可能になりつつあります。

もちろん、地域格差はあります。

合格点ということですが､テレビ朝日モーニングバードで、半年くらいの密着取材がありました。

大工をなさっていて、煙草が好きな方。肺ガンで２か月の余命と言われていたので、普通なら煙草は辞めさせるのですが、余命の少ない方にはお酒、煙草は止めさせないこともあります。

（大工仕事をしている動画、煙草をくわえている本人）映像を残しておくことの意味、その時は、本人・家族には酷かも知れないけれど、信頼関係に立っていればその後お子さんやお孫さんに、プレゼントができたのではないかと思っています。

（資料のグラフの説明、人口ピラミッドの図、支える世代の図）もっと、若い世代にお金を廻さなければならないのではないかと思います。

（物議を醸すかもしれない、と断られて）社会学者が研究したグラフについて説明なされました。

介護サービスを丁寧に受けた方々と、そうしたサービスが余り受けられない方々と、２年間比較調査した。

後者のほうは２年後には、ピンピンころり、すなわち、元気になられる方とお亡くなりになる方の２極に分類できた。

前者は、と言うと、生存されていても、症状がよくなっていない傾向が見られた（物議を醸すかも知れない結果だが、考えるべきだ、との趣旨でお話しされました)。

本人たちがこれを選択するかどうか、決意すべきときが来ているのか。

在宅がすすまない障害は、なにか。

訪問介護ステーション、鎮痛薬のモルヒネを取り扱える医者も20年前より増えた。

そういうことではなくて、問題は、本人の意思決定と、本人が在宅でよいと考えた決意を支える家族の決意が、揃わないことが、一番の障害になっている。

自分自身の死生観をよく考え、自分自身が、人生の最終章をどう過ごすのかを元気なうちに考えることが、人生合格点に至る方法かと思います。

いくつかの、合格点で輝いた皆様方の写真をご説明いただいた。

ハッピーアワーとして、余命幾ばくもないときに大好きなお酒を飲んでいらっしゃる元ロータリー会員の小宮山氏、設営された胃ろうをはずして笑顔を見せる方、息子・孫らに囲まれている方など

「最終章こそ、自分で考えて、自分で決めるっていうこと」だと思います。影響力のある皆様方こそ、自分で決めてゆくことを率先して、範を垂れてください。　以上

（敬称略）

ニコニコボックスご利用のかたがた

甲府ＲＣ

雨宮　俊彦　本日卓話を頂きます。ふじ内科クリニック医院長　内藤いづみ様、よろしくお願いいたします。

小松崎五郎　今週来週と家庭集会が開催されます。テーマは昨年に続いて“会員増強”ですので、活発な討議をお願いします。

土屋　和巳　山本孝夫会員・小松崎会員、富山RC訪問ご苦労様でした。

平嶋　育造　お休みが続き、会報委員のみなさまにはご迷惑おかけしました。本日より復活です。

望月　雄二　内藤いづみさん、卓話楽しみにしています。昨年度の米山奨学生、牛(ギュウ)さんから２月14日にチョコレートが届き、ハッピーなバレンタインデーでした。

秋山　仁博　講師の紹介を致します。じっくり講演を聞いて下さい。

保坂　勝美　内藤いづみ先生ようこそ。内藤先生には以前甲府RCで大変お世話になりました。

ふじ内科クリニック院長　内藤いづみ先生の卓話楽しみにしています

錠　　理一、遠山　　薫、小林日登士、加藤　吉一、丸茂　紀彦、川上　明彦、岸本　良三、柴山　　聡、伊藤　直樹、安藤　耕治、鈴木　直史、松山　一弥、髙野孫左ヱ門、飯嶋　　均、林　　邦久、杉本　裕昭、上村　洋一、上島　充弘、清水　元章、佐々木宏明、五味　　晃、野原　英男、内藤　公博、上原　勇七、岡本　洋祐、金丸　康信、野口　英一、伊野　彰記、熊倉　浩高、田中　晋介、山寺　戦治、由井　久夫、斎藤　訓彦、飯野奈津子、依田　訓彦、淡路　啓二、丹沢　良治

本日ニコニコ金額　　44口 44,000円
ポリオプラス資金へ繰入　　4,400円
ポリオ資金累計額　　136,400円

（会報委員　平嶋育造）